

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばに親しもう		◇口声に出して読んだり、わかりやすく話したりすることや、内容を聞き取ったりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。			
「じこしょうかいピンゴゲーム」をしよう	2	◇「自己紹介ピンゴゲーム」を通して、自身のことを紹介し合う。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア ◇相手を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。⇒思判表A(1)エ  ◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思判表A(2)イ	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((知識及び技能)(1)イ)	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。((思考力、判断力、表現力等)Aア)	【態度】進んで日常生活の中から話題を決め、学習の見通しをもって情報を集め、自身のことを紹介し合おうとしている。
白い花びら	9	△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ ■気に入った表現について、書こうとしたことが明確になっているかなどについて、文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)イ □場面の移り変わりと結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。⇒◎思判表C(1)エ □文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。⇒思判表C(1)オ □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒思判表C(1)カ	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((知識及び技能)(1)カ) ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。((知識及び技能)(3)オ)	【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。((思考力、判断力、表現力等)Bオ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ)	【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを友達と紹介し合おうとしている。
「発見ノート」を作ろう	2	■毎日の生活の中での発見や不思議に思ったことなどを「発見ノート」に書く。  △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書きたいことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。⇒◎思判表B(1)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ  ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。((知識及び技能)(1)ア)	◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)Bア)	【態度】積極的に伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって「発見ノート」を作ろうとしている。
国語辞典の引き方	2	△国語辞典の引き方を理解し、辞典を活用する。  △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。((知識及び技能)(2)イ)		【態度】積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を活用しようとしている。
すじみちを立てて発表しよう		◇中心点をはっきりさせたり、理由を添えたりして自分の宝物を紹介し、友達の意見や感想をもとによりよい発表にする。			
たからものをしょうかいしよう	6	△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア ◇目的を意識して、日常生活において伝えたいことなどから話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、話題に合うことを選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◇相手を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。⇒◎思判表A(1)イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。⇒思判表A(1)エ	◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((知識及び技能)(2)ア)	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。((思考力、判断力、表現力等)Aイ)  ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Aウ)	【態度】粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして自分の宝物を紹介しようとしている。

聞いてさがそう	<p>◇大事なことは何かを考えて、メモを取りながら道順の説明を聞く。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ◇目的を意識して、日常生活において伝えたいことなどから話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、話題に合うことを選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◇相手を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。</p>	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。([知識及び技能](2)イ)	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。([思考力、判断力、表現力等]Aエ)	【態度】進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもって
漢字の広場 ① 漢字学習ノート	<p>△新しく学ぶ漢字や既習の漢字を使って漢字学習ノートを作る。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。⇒知技(3)ウ</p>	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。
漢字の広場 ① 2年生で学んだ漢字 ①	<p>△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
うめばしのはたらき	<p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ □段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。⇒◎思判表C(1)ウ □記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。⇒思判表C(2)ア</p>	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。([知識及び技能](1)カ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。([知識及び技能](2)ア)	◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。([思考力、判断力、表現力等]Cウ)	【態度】粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約し、学習課題に沿って要点をまとめようとしている。
めだか	<p>□段落の要点に気をつけて読み、わかったことや大事なことをまとめる。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。⇒◎思判表C(1)ア □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。⇒◎思判表C(1)ウ</p>	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。([知識及び技能](1)カ)	【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。([思考力、判断力、表現力等]Bイ) ◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。([思考力、判断力、表現力等]Cア) 【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。([思考力、判断力、表現力等]Cウ)	【態度】粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約し、学習課題に沿って分かったことや大事なことをまとめようとしている。
俳句に親しむ	<p>△俳句を声に出して読み、言葉のリズムにふれる。</p> <p>△難しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。⇒◎知技(3)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	◎【知技】難しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。([知識及び技能](3)ア)	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。([思考力、判断力、表現力等]Bウ)ウ	【態度】進んで難しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、学習の見通しをもって言葉の響きやリズムに親しもうとしている。

<p>本で調べよう</p>	<p>△本の仕組みやつくりを知り、それをもとに知りたいことに応じた本を探して読み、必要な事柄を「読書カード」に記録する。 △知りたい情報を見つけるための方法を知り、それをもとに目的に応じた本を探して読み、必要な事柄を「読書カード」に記録する。</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。⇒思判表C(1)ウ □文章などを読んで理解したことに基いて、感想や考えを持つこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。⇒思判表C(2)ア □学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。⇒思判表C(2)ウ</p>	<p>◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。〔知識及び技能〕(2)イ</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ</p>	<p>【態度】積極的に、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約し、学習課題に沿って分かったことを説明しようとしている。</p>
<p>クラスの「生き物ブック」を作ろう</p>	<p>■図や資料を使って、生き物の特徴を比べて書く。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。⇒思判表B(1)エ ■感想や意見を伝え合い、書こうとしたことが明確になっているかなどについて、文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。〔知識及び技能〕(1)カ</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bア</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ</p>	<p>【態度】粘り強く文章の構成を考え、学習の見直しをもって説明する文章を書くこととしている。</p>
<p>漢字の広場 ② 漢字の音と訓</p>	<p>△漢字の音と訓について理解する。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ</p>		<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字の「音」と「訓」について知り、正しく使おうとしている。</p>
<p>のらねこ</p>	<p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ □場面の移り変わりや結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。⇒思判表C(1)イ □文章などを読んで理解したことに基いて、感想や考えを持つこと。⇒思判表C(1)オ □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒思判表C(1)カ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。〔知識及び技能〕(1)オ</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結びつけて具体的に想像している。〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ</p>	<p>【態度】進んで登場人物の性格について、場面の移り変わりや結びつけて具体的に想像し、学習の見直しをもって物語の感想を書くこととしている。</p>
<p>きせつの言葉を集めよう</p>	<p>△俳句には「季節」が読み込まれていることを知り、季節に関する言葉を集める。</p> <p>△易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。⇒知技(3)ア △長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使うこと。⇒知技(3)イ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	<p>◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。〔知識及び技能〕(1)ア</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ</p>	<p>【態度】進んで目的や進め方を確認し、学習の見直しをもってグループで話し合おうとしている。</p>

つたえたいことをはっきりさせて書こう	<p>■◇取材を通してわかったことを、伝えたいことを明確にして報告文にまとめ、感謝やお誘いの手紙を添えて送る。</p>			
取材して知らせよう インタビューをしよう	<p>10</p> <p>■◇取材メモを上手に使用して、組み立てを考えながら調べたことを文章にまとめる。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒◎知技(1)キ</p>	<p>◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。〔知識及び技能〕(1)キ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。〔知識及び技能〕(2)ア</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p>	<p>【態度】粘り強く、書く内容の中心を明確にして文章の構成を考え、学習の見通しをもって報告文を書こうとしている。</p>
漢字の広場 ③ 送りがな	<p>3</p> <p>■手紙の書き方を知り、目的に合わせた手紙を書く。</p> <p>△丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒◎知技(1)キ</p> <p>■書こうとするものの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ</p> <p>■案内状や礼状を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。⇒思判表B(2)イ</p>	<p>◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。〔知識及び技能〕(1)キ</p>	<p>◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。〔知識及び技能〕(1)キ</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ</p>	<p>【態度】粘り強く相手や目的を意識した表現になっているかを確認、学習の見通しをもって目的に合わせた手紙を書こうとしている。</p>
漢字の広場 ③ 二年生で学んだ漢字 ③	<p>2</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>
場面のうつりかわりに気をつけて読もう	<p>□場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉える。</p>			
わすれられないおくりもの	<p>9</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ</p> <p>■書こうとするものの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の移り変わりと結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章などを読んで感じたことや考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。〔知識及び技能〕(1)カ</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ</p>	<p>【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、登場人物の言葉を考えようとしている。</p>
ローマ字	<p>4</p> <p>△ローマ字に興味を持ち、ローマ字の書き方について理解し、ローマ字に親しみを持ち、読めるようにする。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ</p>	<p>◎【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。〔知識及び技能〕(1)ウ</p>		<p>【態度】進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもって、ローマ字に親しもうとしている。</p>
ローマ字とコンピューター	<p>3</p> <p>△コンピューターにローマ字で入力をする際に大切なことを知り、コンピューターを活用する。</p> <p>△漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。⇒◎知技(1)ウ</p>	<p>◎【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。〔知識及び技能〕(1)ウ</p>		<p>【態度】進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもってコンピューターにローマ字で入力しようとしている。</p>
絵文字の特長をとらえよう	<p>◇身のまわりのさまざまな絵文字がどんなことを表しているかなどについて話し合い、絵文字に対する興味や関心を高める。</p>			

<p>世界の人につたわるように</p>	<p>◇身のまわりの絵(絵文字)を友達と紹介し合う。</p> <p>△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア ◇目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。⇒思判表A(1)オ ◇互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。⇒思判表A(2)ウ</p>	<p>◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。〔知識及び技能〕(1)ア)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。〔思考力、判断力、表現力等〕Aア)</p>	<p>【態度】進んで集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって、グループで話し合おうとしている。</p>
<p>くらしと絵文字</p>	<p>□段落のつながりに気をつけて文章を読み、絵文字を説明する文章を書く。</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ■書くことと中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ □段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)ア □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。⇒◎思判表C(1)ウ □文章などを読んで理解したことに基いて、感想や考えを持つこと。⇒◎思判表C(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア □段落のつながりに気をつけて文章を読み、絵文字を説明する文章を書く。□記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。⇒思判表C(2)ア □学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。⇒思判表C(2)ウ</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。〔知識及び技能〕(1)カ)</p> <p>◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。〔知識及び技能〕(2)ア)</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)</p>	<p>【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、身のまわりの絵文字について説明する文章を書くこととしている。</p>
<p>絵文字で表そう</p>	<p>◇司会や記録などの役割を決めて、保健室を表す絵文字についてグループですずんで話し合う。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方や理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア ◇相手を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。⇒思判表A(1)エ ◇目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。⇒◎ ◇互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。⇒思判表A(2)ウ</p>	<p>◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方や理解し使うこと。〔知識及び技能〕(2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ)</p>	<p>【態度】積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。</p>
<p>気持ちをつたえる話し方・聞き方</p>	<p>△言葉にはいろいろな意味がこめられることを知り、気持ちが伝わる話し方・聞き方について考える。</p> <p>△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒◎思判表A(1)イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ◇互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。⇒思判表A(2)ウ</p>	<p>◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。〔知識及び技能〕(1)ア)</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ)</p>	<p>【態度】進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことし、見通しをもって、気持ちを伝えるための話し方・聞き方について考えようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ へんとつくり</p>	<p>△へん、つくりなどの漢字の構成についての知識を得て、漢字を正しく読んだり書いたりする。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を讀むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。〔知識及び技能〕(3)ウ)</p>		<p>【態度】進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう</p>	<p>□会話や行動に注意して、豆太やじさまの気持ちの変化を想像し、物語のおもしろいところを紹介する。</p>			

<p>モチモチの木</p>	<p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)イ  △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア  △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ  ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア  ■書くこととそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ  □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ  □場面の移り変わりと結びつけて、登場人物の移り変わりと結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。⇒◎思判表C(1)エ  □文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。⇒◎思判表C(1)オ  □詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ</p>	<p>◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。〔(知識及び技能)(1)オ)〕  ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。〔(知識及び技能)(3)オ)〕</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。〔(思考力、判断力、表現力等)Bア)〕  ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。〔(思考力、判断力、表現力等)Cエ)〕  ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。〔(思考力、判断力、表現力等)Cオ)〕</p>	<p>【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって物語のおもしろいところを紹介しようとしている。</p>
<p>「おすすめ図書カード」を作ろう</p>	<p>△自ら作品を選び、自分で課題を決めて読書をする。  △「おすすめ図書カード」を作り、本を紹介し合い、さまざまな本を読む。  △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ  △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア  △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒◎知技(3)オ  ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア  ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ  □文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。⇒◎思判表C(1)オ  □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒◎思判表C(1)カ  ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア  □記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。⇒思判表C(2)ア  □学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。⇒思判表C(2)ウ</p>	<p>◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。〔(知識及び技能)(1)イ)〕  ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。〔(知識及び技能)(3)オ)〕</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。〔(思考力、判断力、表現力等)Bア)〕  ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。〔(思考力、判断力、表現力等)Cオ)〕  ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。〔(思考力、判断力、表現力等)Cカ)〕</p>	<p>【態度】積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習の見通しをもって、「おすすめ図書カード」で本を紹介しようとしている。</p>
<p>こそあど言葉</p>	<p>△指示語のはたらきを理解し、適切に使う。  △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ</p>	<p>◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。〔(知識及び技能)(1)カ)〕</p>		<p>【態度】進んで指示する語句の役割を理解し、学習課題に沿って、指示する語句を適切に使おうとしている。</p>
<p>はっとしたことを詩に書こう</p>	<p>■身近なこと、想像したことをもとに、表現を工夫して詩を書く。  △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。⇒◎知技(1)ア  △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ  ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ  ■書くこととそれが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒思判表B(1)オ  ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。〔(知識及び技能)(1)ア)〕  ◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。〔(知識及び技能)(1)オ)〕</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔(思考力、判断力、表現力等)Bウ)〕</p>	<p>【態度】積極的に書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。</p>
<p>ことわざ・慣用句</p>	<p>△ことわざや慣用句の意味を知り、ふだんの生活の中で使うことができるように、カードを作る。  △長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。⇒◎知技(3)イ  ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ  ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア  ☆総合的な学習の時間・道徳：ことわざの成り立ちや意味について興味をもって調べたり、我が国の伝統や文化に目を向けたりする。</p>	<p>◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。〔(知識及び技能)(3)イ)〕</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔(思考力、判断力、表現力等)Bウ)〕</p>	<p>【態度】積極的に、長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。</p>
<p>詩を楽しもう</p>	<p>□音読したり、イメージを広げたりして、詩の世界を楽しむ。  △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒知技(1)イ  △文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。⇒◎知技(1)ク</p>	<p>◎【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。〔(知識及び技能)(1)ク)〕</p>	<p>【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。〔(思考力、判断力、表現力等)Cエ)〕  ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。〔(思考力、判断力、表現力等)Cオ)〕</p>	<p>【態度】進んで、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。</p>

町の行事について発表しよう	<p>△相手を見て話したり聞いたりするともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>△丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ</p> <p>△比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。⇒◎知技(2)イ</p> <p>◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒思判表A(1)ア</p> <p>◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◇話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。⇒◎思判表A(1)ウ</p> <p>◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。⇒思判表A(1)エ</p> <p>◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思判表A(2)イ</p>	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。〔知識及び技能〕(1)イ	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ	【態度】進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、文の組み立てを捉えようとしている。
文の組み立て	<p>△主語と述語や修飾語との関係を理解して、文の組み立てを捉える。</p> <p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ</p>	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。〔知識及び技能〕(1)カ		【態度】進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、文の組み立てを捉えようとしている。
漢字の広場⑤	<p>△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ</p> <p>■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒◎思判表B(1)ア</p> <p>■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bア	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
川をさかのぼる知恵	<p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒◎知技(1)カ</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア</p> <p>△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事例の関係などを叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)ア</p> <p>□目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内容を要約すること。⇒思判表C(1)ウ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。⇒◎思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p> <p>□記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。⇒思判表C(2)ア</p>	◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。〔知識及び技能〕(1)カ	◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ	【態度】進んで、文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって友達と感想を交流しようとしている。
十二支と呼び方	<p>△暮らしの中に今なお使われている昔からの言い方について知り、さまざまな言葉を探して感じたことを書く。</p> <p>△長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使うこと。⇒◎知技(3)イ</p>	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。〔知識及び技能〕(1)オ	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ	
強く心に残っていることを	<p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒◎知技(2)ア</p> <p>■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>■書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ</p> <p>■書くこととしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字二字の言葉の構成について考えようとしている。

漢字の広場	<p>△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ</p> <p>△主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。⇒知技(1)カ</p> <p>△丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。⇒知技(1)キ</p> <p>■間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。⇒◎思判表B(1)エ</p> <p>■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。〔知識及び技能〕(1)エ	【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
おにたのぼうし	<p>△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。⇒◎知技(1)オ</p> <p>△文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。⇒知技(1)ク</p> <p>△考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。⇒知技(3)オ</p> <p>■書こうとすることを明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ</p> <p>□場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の移り変わりと結びつけて、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこと。⇒思判表C(1)エ</p>	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。〔知識及び技能〕(1)オ	<p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p>	【態度】進んで文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
漢字の学習 これから	<p>◇■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。</p> <p>△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒◎知技(1)イ</p> <p>△目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。⇒◎思判表A(1)ア</p> <p>■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思判表A(2)イ</p> <p>■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。〔知識及び技能〕(1)イ	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。〔思考力、判断力、表現力等〕Aア</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ</p>	【態度】積極的に伝え合うために必要な事柄を選び、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。